沢川宿の東に義仲馬洗水あり故に洗馬といふ 巻の村 はにへ村善光寺みちあり

信濃 本山 にへ川へ 江戸へ六十七里廿二丁 京へ七十三里半十四丁 戸百四十文 人口八十八文 屋問吉左衛門

御本陣小林吉左衛門・駅中に本山観音堂あり両方細道なりはね橋有いほ柳の楊枝をうる・日出塩村 桜沢村 境橋此橋より東松本領西名古屋領也これより木曽と云釜の坂ほき橋あり・片平村・若神子村・とちの木村

信濃 にえ川 ならゐえ 江戸へ六十二里廿二丁 京へ七十一里半 戸百十文 本から七十文 人五十三文 屋問治右衛門 傳右衛門

御本陣千村右衛門治・駅中東西三四町古へより爰に温泉あり故ににえ川といふ小橋あり・御番所あり名古や持・押込やうじ木をうる板橋有 長せ村 ・すは坂峠左に諏訪明神の社有・平沢村桧細工ぬり物を商ふ

信濃 なら井 やふ原え 江戸へ六十三里半二十二丁 京へ七十里十四丁 戸百十六文 本から七十一文 人五十六文 屋問又右衛門 五郎左衛門

御本陣龜子九郎右衛門・駅中東西七丁餘はん昌の地なり此宿山の間也・此邊竹檜細工多し是より川の流れ本山の方へ流る 鳥居峠 右の方けはしき坂也此処古へ木曽のかけ橋有其谷間に大木を渡し二三町程土をつきあける

今は平地同様也・峠に義仲硯水と云清水あり・名造お六櫛此邊の名物也・ぶとふ是又此邊の名物也

信濃 薮原 宮のこしへ 江戸へ六十四里半 京へ六十九里四丁 戸百廿四文 本から七十八文 人六十文 屋問惣右衛門 六左衛門

御本陣寺島勘右衛門・駅中南北五町計熊野権現の社一村生土神也巣鷹の出る処也北の方にあり宿あしゝ竹一切なしそば切名物也・これより美濃落合迄両方生茂りたる深山なり木曽道坂をへたてゝ木曽川流る御こしえ流れ出る大海也此奥山より大木出る名古屋より御留山也・吉田村川橋有・徳音寺村橋長さ十八間 馬ば村 左の寺に巴山吹の墓同在所に有

信濃 宮の腰 福しまえ 江戸へ六十六里半 京へ六十七里 戸百廿八文 本から五十六文 人四十五文 屋問孫左衛門 惣兵衛

御本陣村上弥惣右衛門・駅中東西四丁半正八幡宮あり義仲此神前にて元服すといふ義仲の霊をまつる共云南宮社一村の生土神也薮原より此邊屋作り板計也近へん竹なし宿悪敷山中道也・十町程先に巴か渕山吹か渕と云あり左の方義仲城跡有・なんごの宮後に駒か嶽あり夏まで雪あり水昌山駒か嶽有・平野村・上野村・小島村

なんごの宮：南宮神社？
水昌山：水晶山。水沢山のこと？
平野村：原野村（木曽郡木曽町日義原野）？
巣鷹：鷹の雛。
御こし：起（美濃路）？
ぶとふ：葡萄。仮名遣いは「ぶだう」が一般的。
押込：押込（おしこみ）村。
長せ村：長瀬村。
はにへ村：埴部村。
ほき橋：へき沢の橋との書籍もあり。

栗本 大原川有・大板橋はね橋也荒なし林△福島御関所山村甚兵衛殿勤番也鉄砲并女人御改・是より福島迄町つゞき

信濃 福島 あけ松え 二り半
江戸へ六十九里半 京へ六十五里半
本 百六十文 問 孫太夫
から 百六文
人 七十八人 屋 五右衛門

御本陣白木郷左衛門・駅中東西七町當駅京江戸等分の地也當駅より京へ六十七里江戸へ六十八里也宿よし木曽の府なり山坂道也常に市立干瓢名物也右の方茂りたる山に宝あり義仲の城山景地也山村甚兵衛住居也知行七千四百石持屋敷町屋に有此処に万松山長福寺七堂伽藍禅宗也山村氏ほだい寺也・松川村右に八幡宮有 万郡村 河渡村・板敷村・川渕村・下板敷村・かふら村・哥野・鳥居村

御嶽の鳥居右に有 ふみかけ村 福しまより一り半餘小細道也右はいせか沢左は深山おひ茂りたり・木曽のかけ橋右は高山峯を並べ左は巌石するどにして木曽の大河みなぎる谷数十丈中間に大木をより入角木を並へ掛て橋とす危き難所也

後撰集 おいすがふ谷の梢をくもてにてちらぬ花ふむ木曽のかけはし

上代は今の処より上にあり其後新たに修復有川の方にらんかん有慶安三年九月廿六日成就せしと云 新茶や

右のかたに高山あり御嶽といふ本尊は不動尊この山谷々より流れ出て木曽の大河となる

信濃 上ヶ松 すはらえ 三り九丁
江戸へ七十一里十丁 京へ六十三里
本 百七十八文 問 九郎左衛門
から 百十七文
人 八十七文 屋 十兵衛

御本陣藤田九郎左衛門 駅中南北五町はん昌の地也・中沢村松原ありあげ松と云・三帰村三皈廻翁住所也上ヶ松より十町 寝覚村 入口右の方畠の中に細道あり・寝覚のとこ鳥居へ出る茶屋有名物そば木曽第一眺望也此村寝覚寺臨泉寺床に横物にて浦島釣の御影有庭よりねさめの床を見下し景地残らすみゆ木曽河の流れの内に渕岩こみ間々に小松岩つゝじ青葉青草詠めつゞく浦嶋か釣場の石有畳石屏風石まな板石舩つゞら石しゝ石大かま石小釜石なとゝいふ名石多し此河原に姫小松と云名木有其下に弁天の社有詠めある名木也此村ひでようじを商ふ

谷川の音には夢もむすはしをねさめの床と誰かなつけし 近衛院御製

なめ川大橋有・小野の原小野ゝ瀧左にあり山中街道大木しげり道悪敷一町餘はひら物を敷其上を往来す其次にもみの木十本計有・いま道村・倉本村・荻原村 番ば 大野村

信濃 須原 野尻え 一り半
江戸へ七十四里 京へ五十九里半
本 百十八文 問 平左衛門
から 七十四文
人 五十七文 屋 次郎左衛門

寝覚寺：寝覚山。

荒：荒町？

ふみかけ村：踏掛村→沓掛村　万松山：龍源山？

河渡村：神戸村。 川渕村：塩渕村？ 哥野：沼田野(ぬたの)？

おいすがふ…：後撰集には収録なし。夫木集に「しなのぢや谷のこずゑをくもでにてちらぬ花ふむきそのかけはし」

いま道村：宮戸村？

番ば：万場。

詠めある名木也：他の道中記では「かれこれながめ有名所なり」。

谷川の…：『木曽路名所図会』では、近衛家熙「…床と誰名つくらん」

御本陣木村平左衛門・東山道の駅路也驛中東西四丁餘名物絲綿此邊かいこを飼ふ宿よし・いな川村・伊奈川大なる板のかけ橋有左の谷より大河流れ小坂也 大嶋村
・今井村丸山といふ城山有今井四郎兼平か居城なり・林村・戸野村天長院禅宗也弓矢村坂なり関山難所也昔は関所なりかけ橋あり下は大河にてそばの方にらんかん付也弓矢八まん宮の社有 長の村

信濃 野尻 みとのえ 二り半
江戸へ七十五里半 廿八丁
京へ五十八里 九丁
本 百八十四文 高 百二十文
人 九十 文 屋 久左衛門

信濃 三戸野 つまごえ 一り半
江戸へ七十八里 廿八丁
京へ五十五里半 九丁
本 百四十七文 からす 百十七文
人 七十二 文 屋 弥左衛門

信濃 妻籠 まごめえ 二り
江戸へ七十九里半 廿八丁
京へ五十四里 九丁
本 百廿八文 からす 七十八文
人 六十二 文 屋 平八

信濃 まこめ 落合え 一り五丁
江戸へ八十一里半 廿八丁
京へ五十二里 九丁
本 六十三文 からす 四十一文
人 三十二 文 屋 二郎右衛門

信濃 落合 中津川へ 一り
江戸へ八十二里半 廿八丁
京へ五十一里 四丁
本 八十 文 からす 五十二文
人 四十 文 屋 善兵衛

信濃 野尻 みとのえ 二り半
江戸へ七十五里半 廿八丁
京へ五十八里 九丁
本 百八十四文 からす 百二十文
人 九十 文 屋 久左衛門

信濃 三戸野 つまごえ 一り半
江戸へ七十八里 廿八丁
京へ五十五里半 九丁
本 百四十七文 からす 百十七文
人 七十二 文 屋 弥左衛門

信濃 妻籠 まごめえ 二り
江戸へ七十九里半 廿八丁
京へ五十四里 九丁
本 百廿八文 からす 七十八文
人 六十二 文 屋 平八

信濃 まこめ 落合え 一り五丁
江戸へ八十一里半 廿八丁
京へ五十二里 九丁
本 六十三文 からす 四十一文
人 三十二 文 屋 二郎右衛門

信濃 落合 中津川へ 一り
江戸へ八十二里半 廿八丁
京へ五十一里 四丁
本 八十 文 からす 五十二文
人 四十 文 屋 善兵衛

御本陣森七兵衛・駅中東西五丁餘飯盛山とてかたち飯を盛たる如し宿入口にくら坂と云大坂有宿よし 十二根村 左に駒形みゆる・与川橋有・まき沢と云処にかけ橋あり清水村かてん坂大難所也・踏かけ村此筋かけ橋多し山中に中川といふ一軒家あり・土ば村・在家村・芝山村・おこし村坂道也・かすへ坂・山中に一軒家有・十二郷村家二三軒有

御本陣鮎沢弥左衛門・駅中南北二町餘宿あしゝ・野沢村・まご村・和合村・川渡村 中野村 ・白なき城坂共云木曽の城山也惣廻り堀なり左に河渡観音木曽川左より流る 山坂道なり

御本陣島崎忠右衛門・駅中南北三町雌雄瀧大妻籠牛頭天王社一村生土神妻籠古城鯉巌烏帽子巌兜巌等此辺に有・木曽の内竹なし此村大薮大竹有 一石土地 皆山坂道也左にないそか嶽 清水 馬籠峠木曽の御坂と云是より深山入口也・丸山城跡あり

御本陣井口五左衛門・左に城山有古へ落合五郎兼能と云者居住の地なり駅の西に杉の大樹林有其中に兼能か霊を祭る社あり五郎は今井か弟也落合橋あり・夜坂・吉沢

三戸野：三留野。　十二根村：十二ヶ根＝十二兼。　戸野村：長野村の誤り？
踏かけ村：沓掛村。　長の村：長野村。
兼能：兼行。　十石峠：十曲峠。　一石土地：一石栃。
夜坂：与坂。　ないそか嶽：南木曽岳？　まこめ：馬籠。

村・古能坂・古能府村 上かね村 坂あり薬師堂有・中津川
入口に苗木の別れ道あり右のかたに高山みゆる苗木の城
山なり城下前に木曽川なかる

美濃	中津川 大井へ 二り	江戸へ八十三里半 京へ五十四里	本 百廿七文 から 七十八文 人 六十二文	問 長右衛門 助 助

苗木城主 遠山美濃守 藤原氏 江戸より八十四り 中津川より一り

美濃	大井 大久手へ 三り半	江戸へ八十三里半 京へ四十八里 四丁	本 二百十六文 から 百四十文 人 百八 文	問 弥三右衛門

御本陣市岡七右衛門・駅中五丁計中川社今白山と称す
當駅より宿出はなれに橋有・杉の木村・こまんば村・大森
八幡宮あり 坂本 昔此処駅也・千田林村・茄子川村山中也
・岩瀬村茶屋あり・大井宿入口左の方にね津甚平かはか
あり信長家臣なり此邊皆山の峯道也左に岩村城みゆ
・追分名古屋へ十八り釜戸宿へ三り半

美濃	大井 大久手へ 三り半	江戸へ八十五里半 京へ四十八里 四丁	本 二百十六文 から 百四十文 人 百八 文	問 弥三右衛門
岩村城主 松平能登守		大名小路 大井より 江戸より		

御本陣林理助 當駅山中にて三四町計宿悪敷大釜
戸迄坂道也川あり大井川といふ木曽路人馬停止は三丁の
間なり・うわせ川橋あり 巻金坂 山中也・伊勢参宮道
あり ふかや村 山中也・左に遠く御嶽山みゆ・西行坂右の方
西行の塚有諸国をあるきしゆへ諸国に有 大かこら村

美濃	細久手 みたけへ 三り	江戸へ九十里半 京へ四十三里 四丁	本 二百五文 から 百卅三文 人 百 三 文	問 孫兵衛 七左衛門

御本陣小栗弁之右衛門・宿悪敷山中にて山坂谷間なり
右の谷に田畑多し是より下り坂多し 平岩村 右に平巌
とて大巌有・つばせ村・くじ上り長坂也右は谷川流る 十方

美濃	大久手 細くてえ 一り半	江戸へ八十九里 京へ四十三里半 四丁	本 百七文 から 六十七文 人 五十三文	問 傳右衛門 市郎兵衛

御本陣保々市郎兵衛・宿悪敷山中にて不自由成宿也
・琵琶坂ひわ峠・峠の下に母衣岩烏帽子岩とて其形の
岩有・やせ沢村弁才天有加賀の白山みゆる 一ツ家

美濃	細久手 みたけへ 三り	江戸へ九十里半 京へ四十三里 四丁	本 二百五文 から 百卅三文 人 百 三 文	問 孫兵衛 七左衛門

御本陣小栗弁之右衛門・宿悪敷山中にて山坂谷間なり
右の谷に田畑多し是より下り坂多し 平岩村 右に平巌
とて大巌有・つばせ村・くじ上り長坂也右は谷川流る 十方

美濃	御嶽 伏見へ 一り	江戸へ九十三里半 京へ四十里 四丁	本 六十一文 から 四十二文 人 三十一文	問 伊左衛門 茂兵衛

木村 うとふ坂長坂也・和泉式部屋敷跡有
泉水・松井尻・おくる木此間に昔関の太郎とて
鬼の住たる岩穴有・みたけ宿の川端に丸き
穴有御嶽権現の山也此山音よし鐘と云山
なり藏王権げん也惣して山谷多し

美濃	大久手 細くてえ 一り半	江戸へ八十九里 京へ四十三里半 四丁	本 百七文 から 六十七文 人 五十三文	問 傳右衛門 市郎兵衛

御本陣保々市郎兵衛・宿悪敷山中にて不自由成宿也
・琵琶坂ひわ峠・峠の下に母衣岩烏帽子岩とて其形の
岩有・やせ沢村弁才天有加賀の白山みゆる 一ツ家

美濃	御嶽 伏見へ 一り	江戸へ九十三里半 京へ四十里 四丁	本 六十一文 から 四十二文 人 三十一文	問 伊左衛門 茂兵衛

木村 うとふ坂長坂也・和泉式部屋敷跡有
泉水・松井尻・おくる木此間に昔関の太郎とて
鬼の住たる岩穴有・みたけ宿の川端に丸き
穴有御嶽権現の山也此山音よし鐘と云山
なり藏王権げん也惣して山谷多し

九影寺：愚溪寺。　松井尻：井尻。　つばせ村：津橋村。　やせ沢村：八瀬沢村。
うとふ坂：謡坂。　小栗…：代々「小栗八郎右衛門」。
くじ上り：くじ上げ坂（ふじあげ坂）、十方木村：十本木村。　大久手：大湫。
※西行塚は槙ヶ根より東。　大井川：阿木川？
大かこら村：大久後村。　うわせ川：永田川？、巻金：槇ヶ根。　ふかや村：深萱村。
こまんば村：駒場村。　千田林村：千旦林村。　ね津…：根津甚平は源頼朝の家臣との伝説。
古能、古能府：子野。　上かね村：上金村。